

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年08月24日

計画の名称	地震災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）														
計画の期間	平成28年度 ～ 令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当	○			
交付対象	京都市														
計画の目標	東日本大震災では、大規模に盛土造成された宅地で地滑り被害が集中したことから、京都市においても、大規模盛土造成地の安全確保が大きな課題となり、市民の防災意識を高めるため「大規模盛土造成地マップ」を公表した。 さらに、現地での調査の必要性が高い大規模盛土造成地において、ボーリング調査、地下水位観測等により安定解析を行い、地震災害に強いまちづくりを推進する。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		52	A	52	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28年度当初	H30年度末	H32年度末
1	現地での調査の必要性が高い大規模盛土造成地において、地質調査・安定解析を行う。			
	現地での調査の必要性が高い大規模盛土造成地の箇所数に対する、地質調査・安定解析及び設計・工事を実施した箇所数の割合 （（地質調査・安定解析を行い、安全率が1以上の箇所数）＋（地質調査・安定解析を行い、安全率が1を下回った箇所数で、設計・対策工事を実施した箇所数））／（ 現地での調査の必要性が高い大規模盛土造成地の箇所数）×100＝	0%	75%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

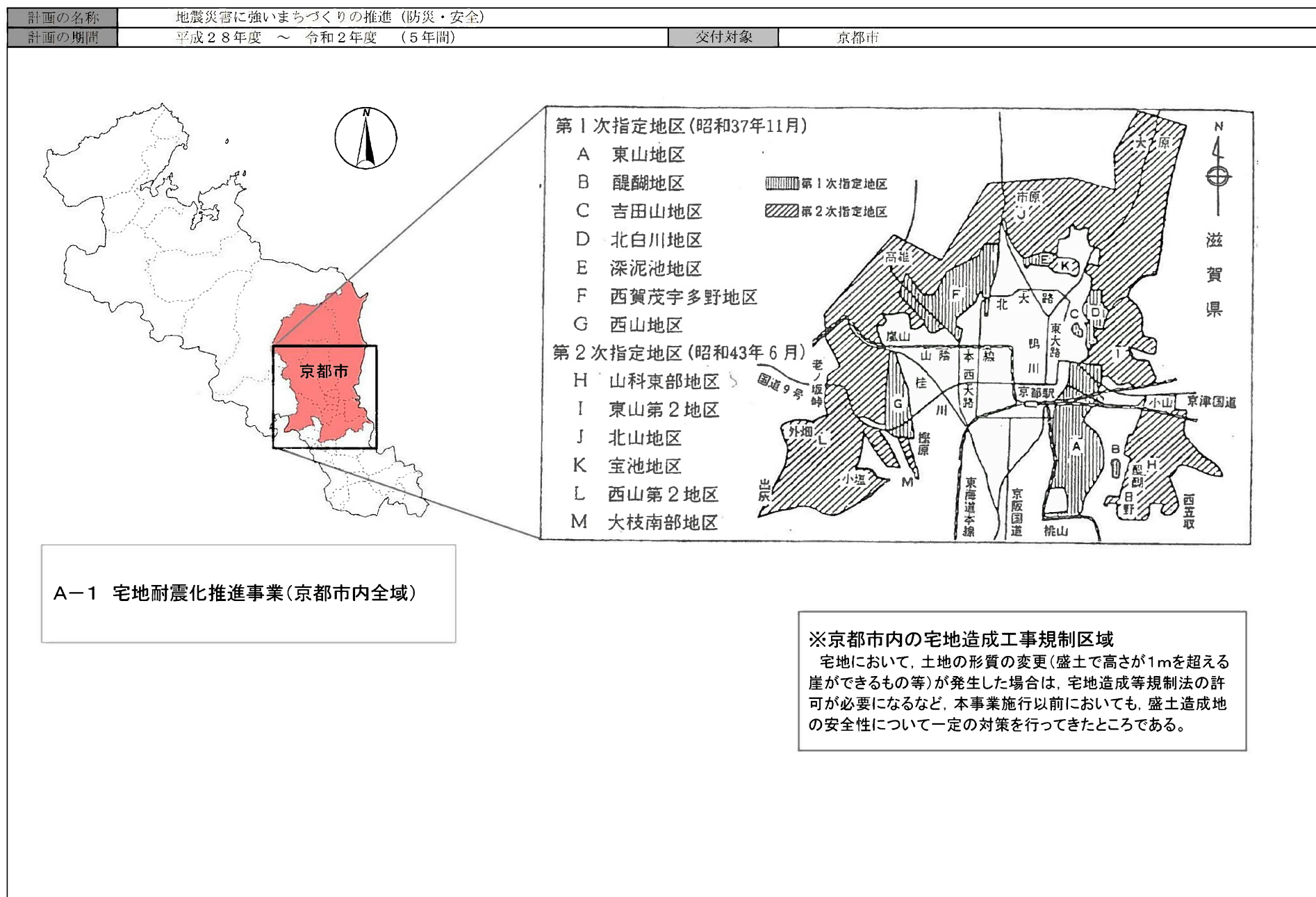
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	京都市	直接	京都市	－	－	大規模盛土造成地の変動 予測調査	地質調査，安定解析	京都市内全域	■	■	■	■	■	52		－	
												小計						52		
											合計						52			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	
配分額 (a)	4	8	1	8	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	4	8	1	8	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	
支払済額 (e)	4	6	1	8	
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	2	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	25	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		入札差金のため			

(参考図面) 市街地整備



事前評価チェックシート

計画の名称： 地震災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
2) 安心・安全のまちづくりの必要性という観点から地区の位置付けが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 整備計画の目標と定量的指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 定量的指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③整備計画の目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 整備計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 定量的指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○

